

こども

子供のインターネットバイブル

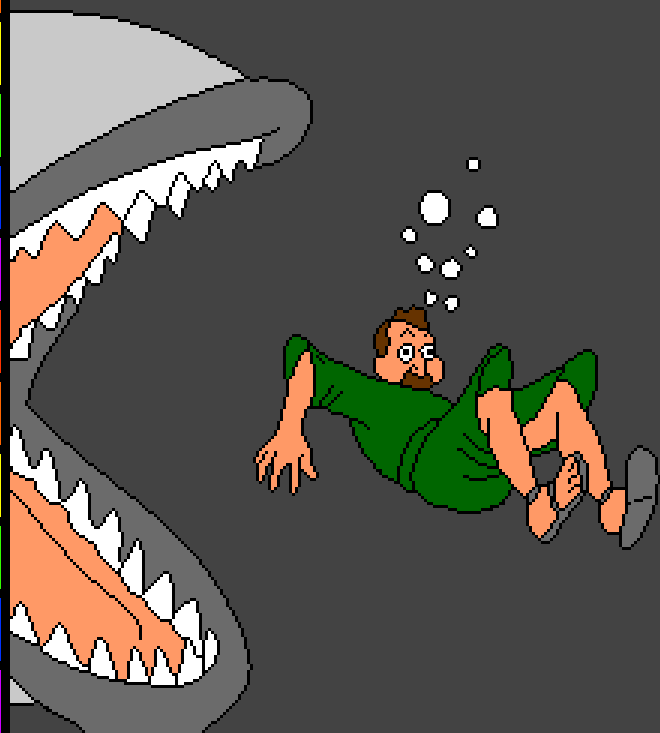
あんない

案内いたします

おお

さかな

ヨナと大きな魚



ぶん
文: E. Duncan Hughes

え
絵: Jonathan Hay

かいさくしゃ
改作者: Mary-Anne S.

ほんやくしゃ
翻訳者: Yuko Kajiki
監修者: Dan Ellrick

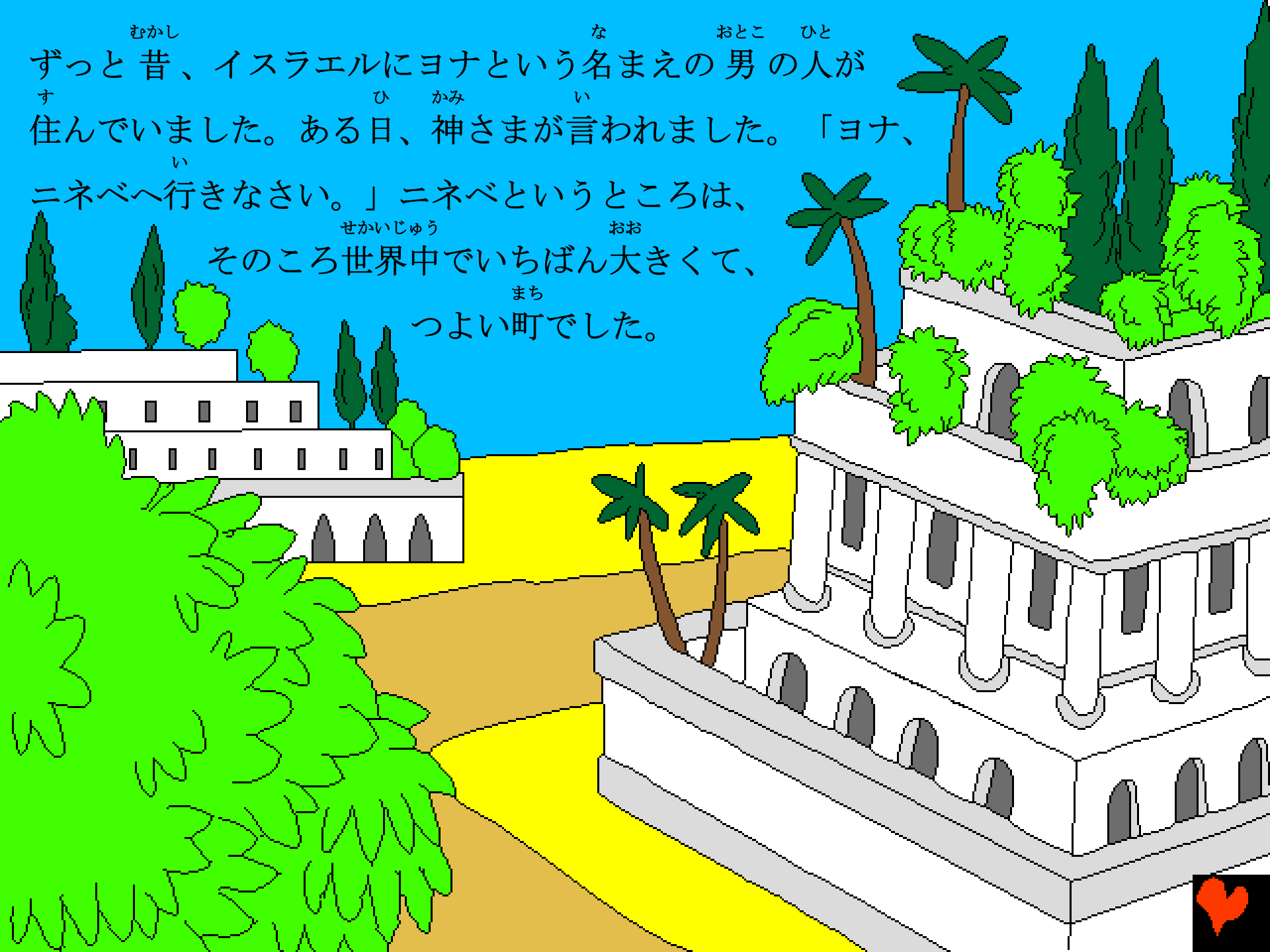
しゅっぱんしゃ
出版社: Bible for Children
www.M1914.org

©2007 Bible for Children, Inc.

きよか 許可: たにん 他人に う 売らない かぎ 限り はなし このお話の また コピー、又はプリントは、
きよか 許可されています。



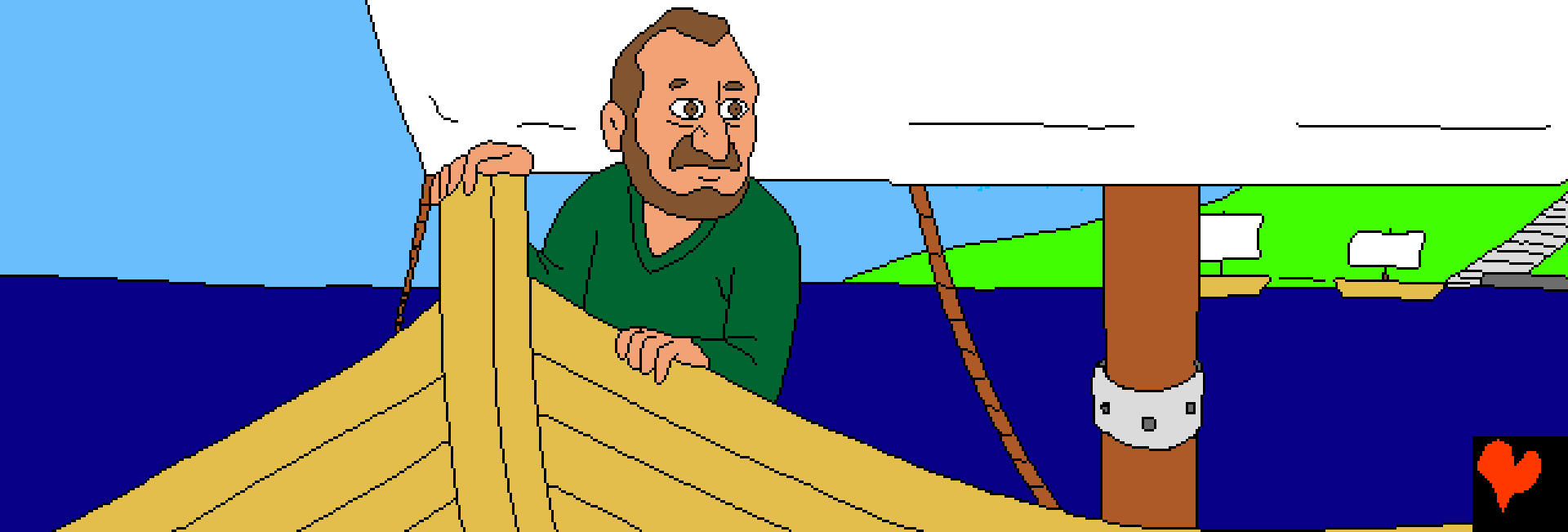
むかし ずっと昔、イスラエルにヨナという名まえの男の人が
す 住んでいました。ある日、神さまが言われました。「ヨナ、
い ニネベへ行きなさい。」ニネベというところは、
せかいじゅう そのころ世界中でいちばん大きくて、
おお つよい町でした。



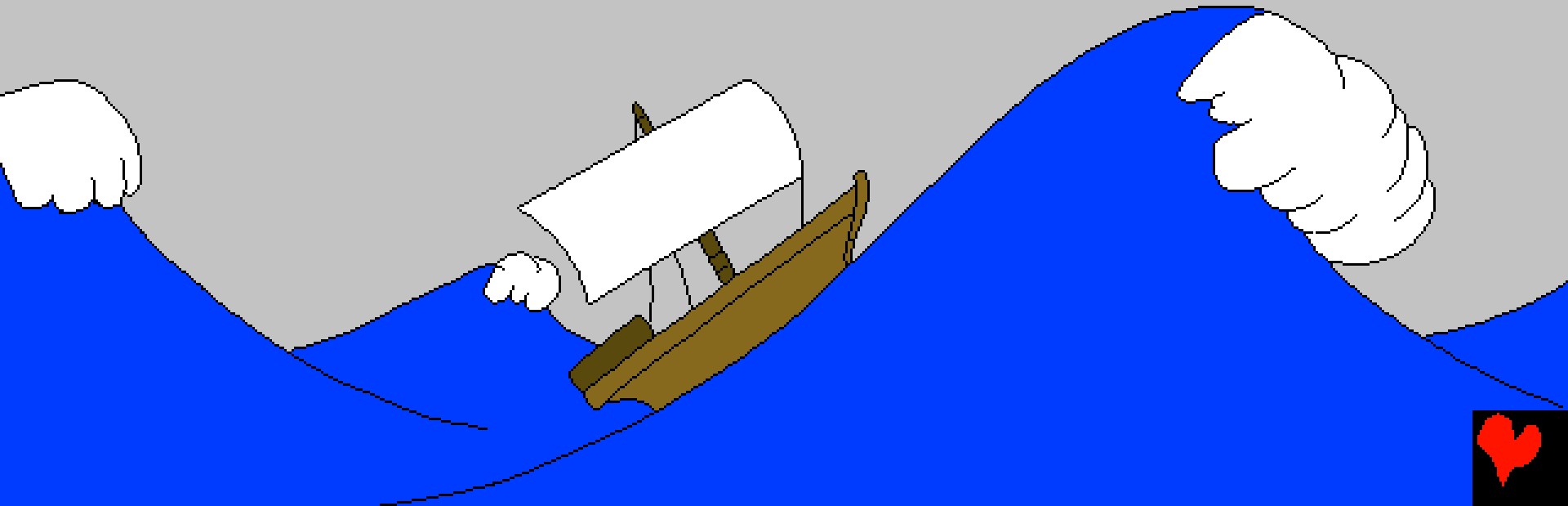
でもそこに住んでいた人は、悪いことばかりしていたの
です。そこで、神さまはヨナに、「ニネベの人々がどん
なに悪いことをしているか、ちゃんとわかっている
のですよ。」と、みんなに伝えに行くようにめいれいされたのです。



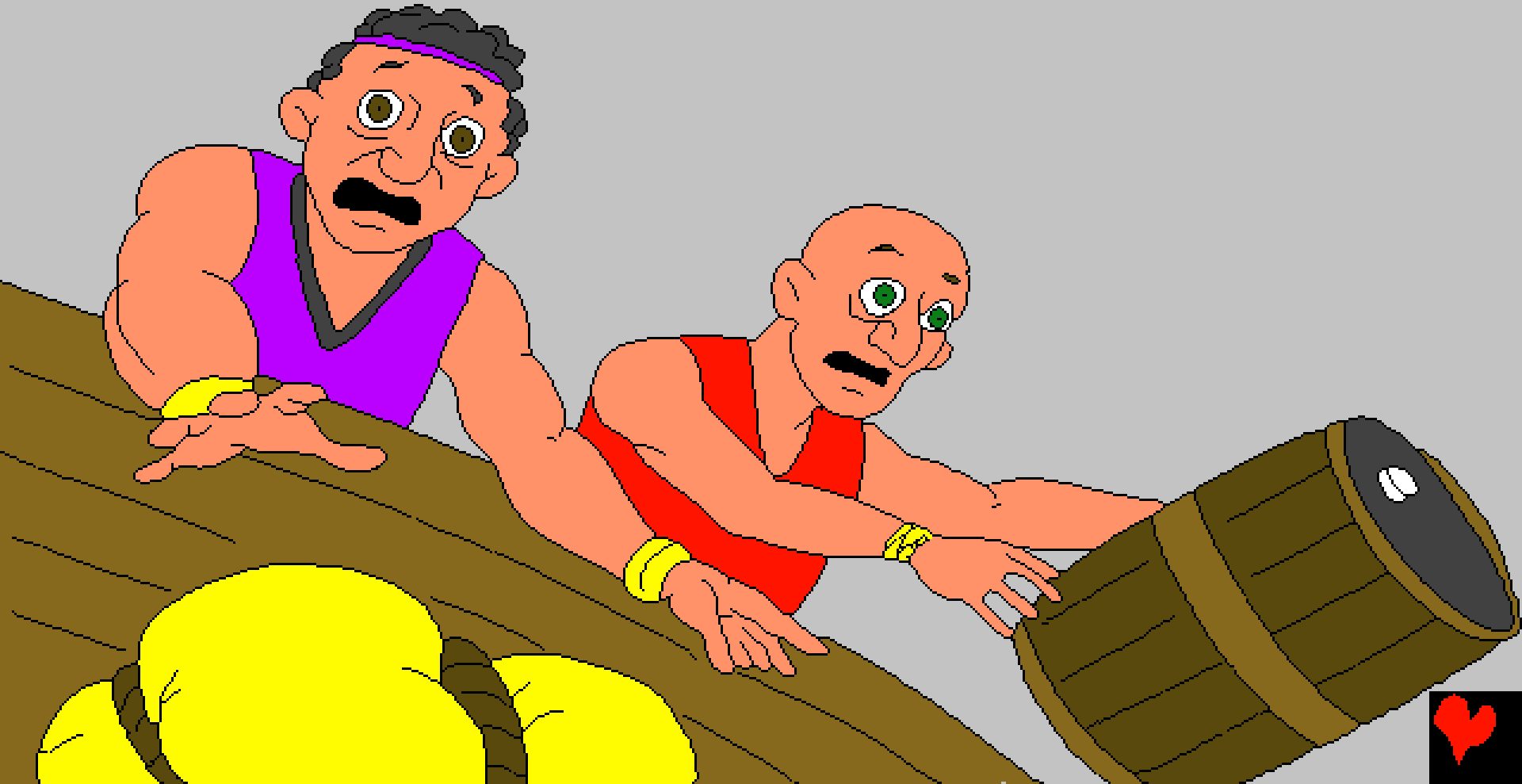
ところが、ヨナは神さまのおっしゃるとおりにな
かったのです。ニネベへ行くかわりに、船にのって
反対の方、タルシシュにむかいました。



そこで主なる神さまは、海につよいつよい風を送られました。さあ、たいへん！
ひどいあらしです。ざぶーん、ざぶーんと大きな波が 船におおいかぶさってきます。
「ああ、どうしよう！船がバラバラになってしまう！」船のりたちは、さげびました。



あらしは、だんだんひどくなっています。船ふなのりたちは、おそろしくてたまりません。「神かみさま、どうか助たすけてください。」って祈いのりました。船ふねをかるくしようと、荷にもつをみんな海うみになげこみました。けれども、あらしはますますひどくなり、もうすぐ船ふねはしずみそうです。

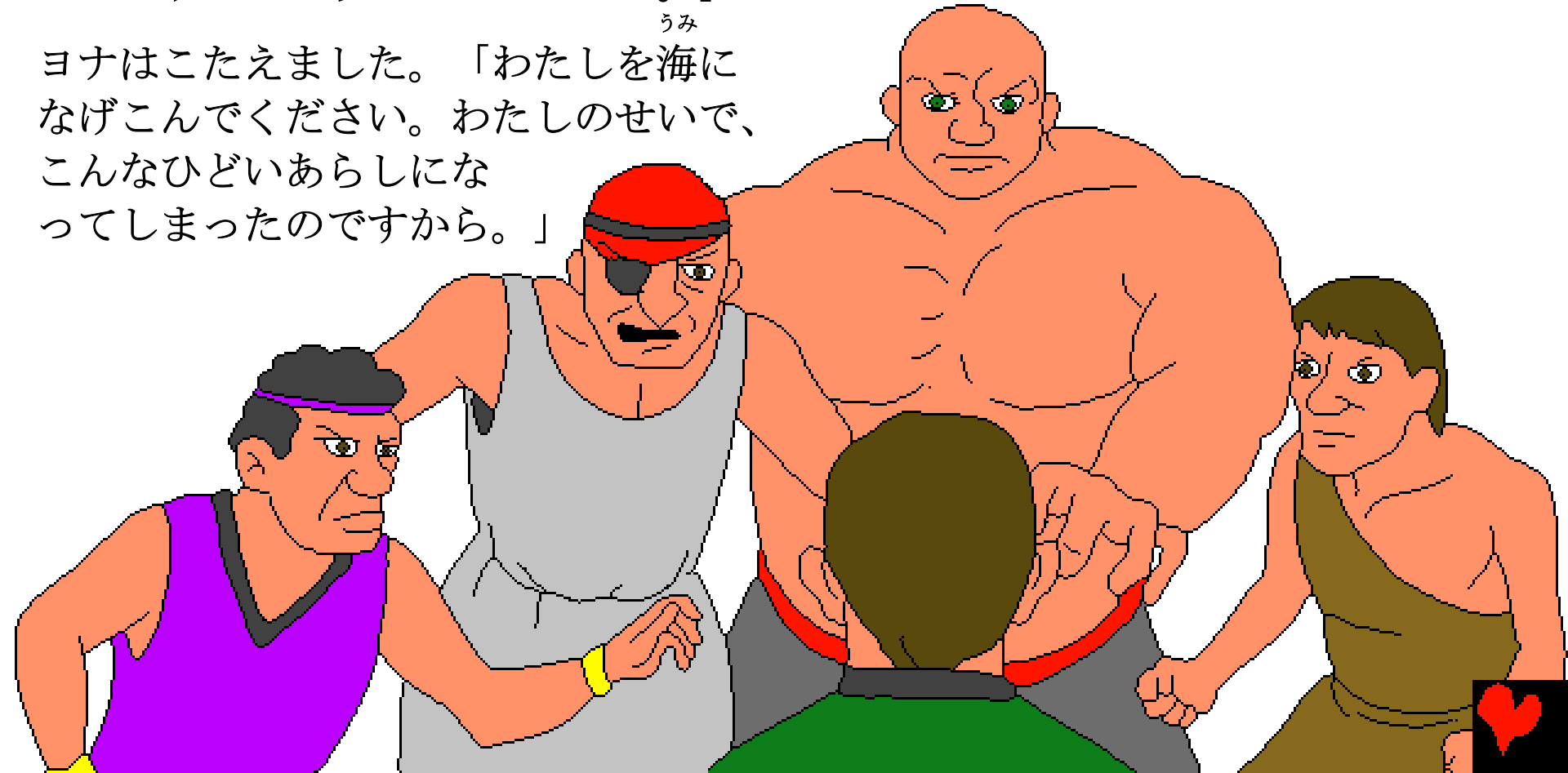


あれっ、ひとりだけ祈っていない人がいますよ。その人は、ヨナです。ヨナは祈るかわりに、船のそこでグーグーねむっているようです。船長が、ヨナを見つけました。「こんなところで、あなたはなにをしているのですか。いまごろ眠っているなんて！ さあ、すぐ起きて祈ってください！ 神さまは、もしかしたらわたしたちのことを、助けてくださるかもしれないのです。」



そのとき、^{ふな}船のりたちはこう思いましたよ。^{おも}こんなひどいことになったのは、
ヨナのせい^{かみ}にちがいないって。なぜってヨナは、神さまのいうこと^きを聞かない
で、この船^{ふね}ににげてきたからです。そこで、船のりたちは、ヨナにたずねまし
た。^{うみ}「おれたちは、いったいあなたをどのようにすればいいのだ。この海のあら
しがしずまるようになるためには。」

ヨナはこたえました。^{うみ}「わたしを海に
なげこんでください。わたしのせいで、
こんなひどいあらしにな
ってしまったのですから。」



ふな
船のりたちは、ヨナを海になげこみ
たくありません。そこで、みんなは
いっしょうけんめい船をこぎまし
た。「さあ、船をこいで岸まで
いくんだ。」けれども、こいで
もこいでも岸までたどりつき
ません。さて、どうすれば
いいのでしょうか。助か
るほうほうは、ただひ
とつしかありませんね。



かみ
「神さま、どうぞおゆるしてください。」
ふな
船のりたちは、
いの
こう祈ってから

あ
ヨナをもち上げ、
うみ なか
海の中になげこみ

おお
ました。ヨナが大
なみ なか
きな波の中にきえ
てしまったとたん、
うみ
どうでしょう。

うみ
海はとたんにしずかになり、
かぜ
風は

ふな
やんでしまいました。船のりたちは、

か てんき み
このとつぜん変わった天気を見て
すっかりこわくなってしまいました。



「なぜ、とつぜんあらしがやんでしまったのだろう。」それは、ひどい
あらしよりも、もっともとおそろしいこと

おも

のように思えました。

ふな

いま

船のりたちは、今はっきりとわかった
でしょう。このようなことがおできになる

かみ

のは、神さましかいらっしやら
ないって。かれらは、このふしぎな

こころ

できごとに心からおどろいて、

かみ

れいはい

神さまをおそれながら礼拝しました。



かみ
さて、神さまのいうとおりし
たがわなかったヨナは、とつ
うみ
ぜん海になげこまれ、ほん
とらにびっくりしたことでし
うみ なか
う。ヨナは、ふかい海の中へ
しずんでいきましたよ。で
も、どうすることもできませ
じぶん
ん。ヨナは、自分がおぼれて
し おも
死んでしまうだろうって思い
かみ
ました。でもね、神さまはヨ
けいかく
ナに、ほかのことを計画され
ていたのです。



しゅ おお おお さかな ようい
主は、ヨナをのみこむような大きい大きい魚を 用意さ
さかな

れていたのです。その魚はね、ちょうどそのとき、その
ふね した

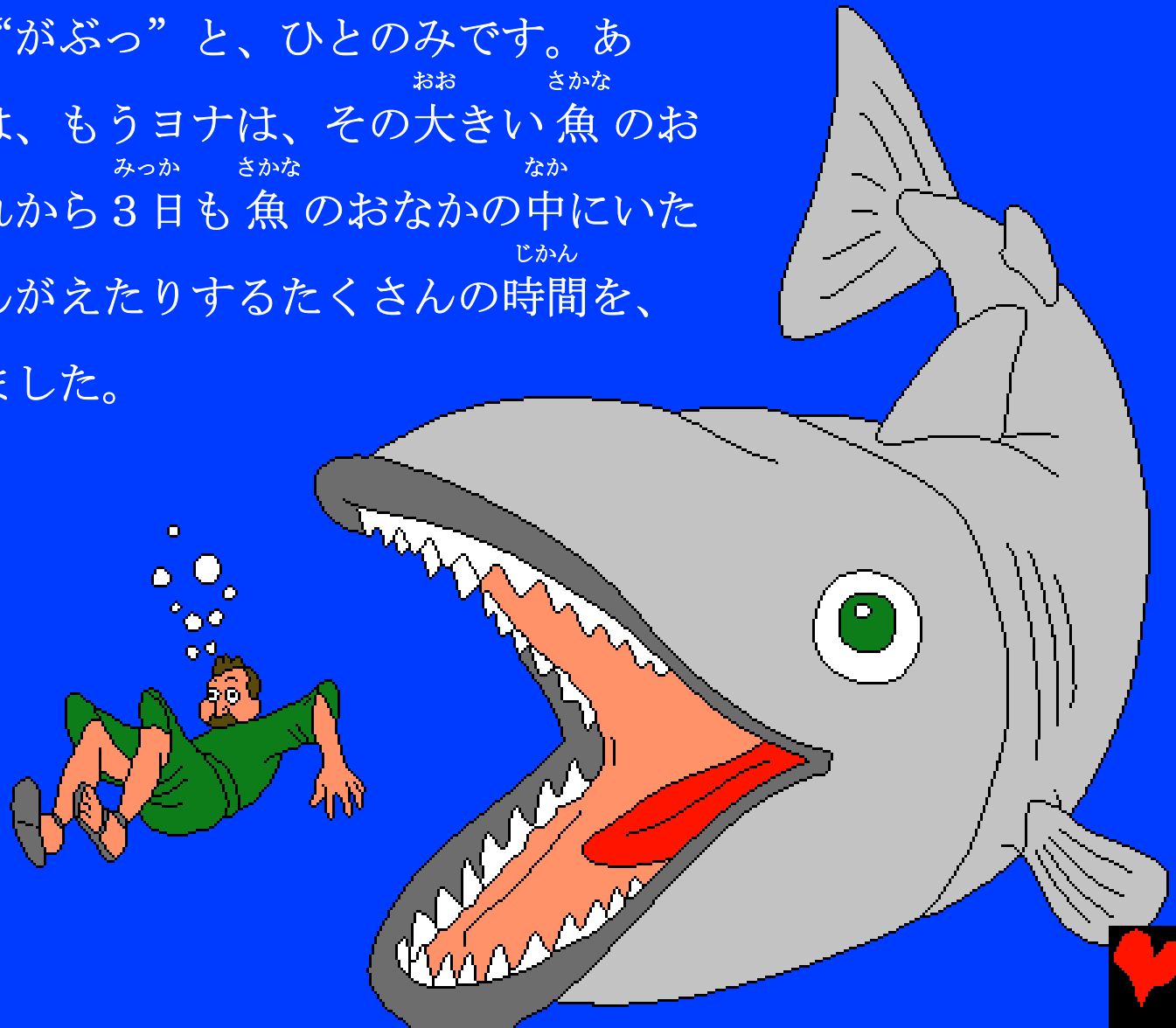
船の下にいました。“がぶっ”と、ひとのみです。あ
おも おお さかな

れっと思ったときには、もうヨナは、その大きい魚のお
なか みっか さかな なか

なかの中ですよ。それから3日も魚のおなかの中にいた
いの じかん

ヨナは、祈ったりかんがえたりするたくさんの時間を、
かみ

神さまからいただきました。



みっかめ

かみ

い

ちょうど3日目です。「これからは神さまの言われるとおりにしよう！」と、

こころ

かみ

さかな

ヨナは、やっと心にきめました。するとどうでしょう。神さまは、すぐに魚

い

なか

すな

は

に言われました。「さあ、おなかの中のものを、砂はまに吐きださない。」

すな

そして、ヨナは砂はまにうちあげられたのです。



かみ まえ い
神さまはヨナにまた、前とおなじことを言われました。「ヨナ、ニネベ
の町まちへ行き、わたしのこといばをつた伝えなさい。」こんどは、ヨナはどうし
たでしょう。もちろん、すぐいに行きました。「40日にちのうちに、この町まち
はなくなってしまうつただろう。」と伝えましたよ。



ひとびと

かみ

ひとびと

た

ニネベの人々は、神さまのことばをしんじました。人々は、食べることをやめ

ぬの

き

かみ

かみ

て、あらい布のふくを着て、神さまにあやまりました。「神さま、ごめんなさ

かみ

わる

おう

い。わたしたちは、神さまにしたがわないで悪いことばかりしていました。」王

かみ

さ

おう

おう

たか

さまも神さまに、あたまを下げました。王さまは、王さまだけがすわれる高い

くらい

ぬの

き

はい

なか

位のイスからおりて、あらい布のふくを着て、灰の中にすわりました。それか

ら、みんなにめいれいしました。「さあ、

わる

みんな、もう悪いことはやめるんだ。

あらそ

しゅ

争ってはいけない。そして主に

いの

ゆるしてくださいって祈るんだ。」



かみ

神さまは、ほんとうにみんなをゆるしてくださったのですよ！なんてうれしいこ

かみ

し

とでしょう。神さまがゆるしてくださったと知ったニネベの

ひとびと

おお

人々は、大よろこび。・・・でもね、

ひとりだけおこって

ひと

いる人がいますよ。

その人はだれ？ヨナ

だったのです。



どうして、ヨナはおこっているのでしょうか。ヨナは、神さまに言いました。「神さま、わたしは神さまが、めぐみぶかく、なさけぶかく、すぐに怒られることはなく、しんせつでやさしい方ということを知っております。」つまりね、ヨナはわたしたちが悪いことをしても、「神さま、ごめんなさい。」と言って、神さまのことばにしたがうようになれば、神さまはいつもゆるしてくださることを、知っていたのです。でも、ヨナはきっとニネベの人々が好きじゃなかったのでしょうね。だから、神さまがニネベの人々をすぐにゆるされるのは、いやだったのです。



ヨナは、神さまにととてもおこって、こう言いました。「神さま、わたしの命を、さっさと取ってしまってください。生きているより、死んだほうがましです。」



それから、ヨナは町の外に出ていき、つぎに神さまが、いったい自分に何をな
さるのだろうと**おも**っていました。主なる神さまはね、大きなはっぱのついた木
を用意**ようい**されましたよ。その木はあつというまに大きくなり、その木かげが、ヨ
ナを**あつ**い**おひ**さまの**ひかり**から一日中**いちにちじゅう**ま
もってくれました。



ところが、つぎの日のあさです。神さまは、木に1ぴきの虫をつかせました。

あれっ、クネクネうごいていますよ。うじ虫それともいも虫？その虫はね、あつ

という間にはっぱを食べつくしてしまい、その木はかれてしまったのです。それ

から主は、あつくてつよいつよい風をおくられました。ヨナは死んでしまうと思

うほどでした。それでヨナは、ますます神さまに、おこりました。



そこで神さまは、ヨナに言われましたよ。「ヨナ、おまえが
わたしにおこっているのは、正しいことなのか。おまえは
とうごまの木が死んでしまい、かわいそうだと思っ
たことだろう。だが、よくかんがえてごらん、
その木は、おまえがはたらいて育てた
わけじゃないんだよ。



その木は、ひとばんで大きくなり、ひとばんで死んでしま
った。それじゃ、どうしてわたしが、ニネベの人々をか
わいそうと思っおもてはいけないのか。どうしてって、
そのすばらしい町ニネベには、何千人なんぜんにんもの人ひとが
すんでいるんだよ、ヨナ。」



おお さかな
ヨナと大きな魚

かみ み せいしょ しる
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

しょ
ヨナ書

み ひら ひかり あた
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん
詩篇 119:130



おわり



せいしょものがたり わたし かみ
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまについて、
おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことをしてほしいと、
おも
思っています。

かみ わたし かみ
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、しています。それを、神さま
は、罪とよばれています。その罪のむくい、死です。

かみ あい ひとり こ
けれども、神さまは、あなたをとて愛していますので、ただ一人のみ子イエスさまを、こ
よ おく つみ し
の世に送ってくださいました。そしてあなたの罪のために、十字架上で亡くなられたのです。けれども
それから、イエスさまはよみがえられ、天国のいえへ、もどられたのです。もし、あなたがイエスさ
しん
まを信じ、ゆるしてくださいとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてくださいます！イエスさま
いま ところ き なか す
は、今、あなたの所へ来て、あなたのところの中に住んでくださいます。そして、いつまでもイエスさ
まといっしょに生きることができますよ。

もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこう言ってください。
あい かみ わたし かみ しん ひと わたし つみ な
愛する神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人となり、私たちの罪のために亡くなっ
てくださいました。そして、よみがえって、いま生きて
わたし なか き つみ わたし いま
いらしています。どうか、私のところの中に来て、罪をゆるしてください。それで、私は今、あた
らしい命をいただけます。そして、いつか、あなたの所へ行き、いつまでもあなたといっしょにいる
ことができるのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子として生きることができますよう、たす
けてください。アーメン

せいしょ かみ ふくいんしょ
まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによる福音書3：16

